

大嘗祭に武蔵野市の 「東京うど」が供納されました

天皇陛下のご即位に伴う重要な神事の一つである「大嘗祭」が11月に行われました。五穀豊穰と国民の安寧を願うこの神事には、全国各地を代表する海の幸、山の幸が供納されます。実はこの供納品の1つとして、武蔵野市産の「東京うど」が選ばれました。今回は供納までの過程をご紹介します。

10月10日 供納うど御伏込祭

大嘗祭に供納する「うど」を育てる東京うど組合・組合長の後藤正昭さん宅で行われた御伏込祭（うどの根株を室に伏込む神事）。宮内庁からの依頼を受け、JA東京むさし主催により、関係者が出席して執り行われました。



伏込を待つ東京うどの根株



厳肅な神事の様子



根株を室に運ぶ供納者一行



根株を伏込む様子

▶ 11月7日 供納うど収穫祭

室で育った「東京うど」の収穫が行われました。白く美しく育った「東京うど」。無事に育ち、生産者の後藤さんも安堵されていました。



11月12日 供納うどを宮内庁などへ

大嘗祭へ供納するうどを宮内庁へ運びました。あわせて、明治神宮、大國魂神社にも奉納しました。



11月14・15日 大嘗祭

大嘗祭が執り行われ、全国を代表する産品とともに「東京うど」が庭積の机代物として供納されました。

*供納にあたり、10月17日に根株の本伏込みが行われたほか、供納、奉納のための本収穫が11月11日に行われました。

2月にうどの品評会・即売会が行われます

武蔵野市東京うど組合が主催する、市内農家で栽培された「東京うど」の品評会を毎年2月にJA東京むさし武蔵野支店（西久保1-18-10）で開催しています。当日は、市内産うどの販売のほか、酢みそあえ、きんぴらなどの無料の試食用意しています。開催日などは、市ホームページ、市報でお知らせします。

東京うどはここで購入できます

「東京うど」の旬は1月～4月ごろです。JA東京むさし武蔵野新鮮館（西久保1-18-10 / Tel. 0422-54-7150）や市内の直売所などでお買い求めください。



＼イチオシ！／
おすすめ簡単レシピ

うどの揚げ春巻き



1. 細切りにしたうど、大葉、チーズ、カニかまを春巻きの皮の上のせて巻く
2. 180℃の油で揚げる
3. きつね色に揚がったら出来上がり！